

Daily Market Report

ナフサ C&F JAPAN 評価値(ドル/MT)

C&F JAPAN 評価値

6月前半着	1,105.75	(13.75)
6月後半着	1,098.25	(13.75)
7月前半着	1,092.75	(13.75)
7月後半着	1,088.75	(13.75)
8月前半着	1,085.75	(14.00)

OPEN SPEC NAPHTHA スポット取引プレミアム評価値

(千葉到着ベース)	COUNT30日前	COUNT45日前
5月後半着	+15.25	+8.75
6月前半着	+13.00	+8.25
6月後半着	+9.00	+5.50
7月前半着	+6.31	+3.50

算出時の原油価格(ドル/bbl)

MONTH	JUN
WTI	113.63
BRENT	125.73

本日午前 10 時時点での理論上の計算値、()内は前営業日の評価値との比較

[マーケットコメント]

27 日のナフサ C&F JAPAN は 1078 ドルと小反落、クラックスブレッドは反落。アジア市場はタイトなファンダメンタルズを背景に堅調に推移している。一方、欧州市場も同様にタイトな状況が続いており、アジアが上昇すると欧州も追隨して上昇する動きとなっている。アジア市場の騰勢を受けて欧州市場が上昇し、この流れを引き継いで前日のアジア市場も強めのムードで始まった。韓国のエンドユーザーがスポット玉を調達出来なかったとの噂が流れたことも、堅調なムードに拍車を掛けた。しかし、マージン悪化を理由に敢えて高値でのスポット玉を調達しなかったとの見方もあり、強気ムードを打ち消す流れもあった。ブラツタイムは買い手優位で始まったが、欧州市場がやや弱めで始まったことで売り手が表面化し、クラックスブレッドは反落した。本日のアジア市場揉み合う展開が見込まれる。GW を前に、日本のエンドユーザーのスポット調達が見込まれるが、ナフサ価格が 1100 ドル目前まで上昇していることから、高値警戒感が一段と強まること想定される。

ナフサ MOF / 国産ナフサ価格予想値および評価値

	ナフサMOF価格				国産ナフサ価格	
	ドル/MT	ドル/円	円/KL	速・確報値/(前日比) 円/KL	予想値/評価値 円/KL	速報値/(前日比) 円/KL
11-Jan	857.45	82.91	49,410	49,202		
11-Feb	882.61	82.33	50,505	50,257		
11-Mar	891.37	82.35	51,017	51,929		
11-1Q			50,113	50,384	52,100	52,400
11-Apr	983.50	82.93	56,687	(2)		
11-May	1,050.14	82.89	60,499	(1,150)		
11-Jun	1,095.85	82.09	62,519	(1,080)		
11-2Q			59,902		61,900	(700)
11-Jul	1,097.40	82.10	62,617	(1,249)		
11-Aug	1,093.02	82.12	62,379	(1,261)		
11-Sep	1,089.56	82.13	62,195	(1,268)		
11-3Q			62,397		64,400	(1,300)
11-Oct	1,086.73	82.15	62,049	(1,260)		
11-Nov	1,084.19	82.18	61,923	(1,240)		
11-Dec	1,081.69	82.21	61,801	(1,213)		
11-4Q			61,924		63,900	(1,200)
12-Jan	1,079.11	82.24	61,679	(1,189)		
12-Feb	1,076.17	82.28	61,537	(1,182)		
12-Mar	1,072.73	82.31	61,367	(1,199)		
12-1Q			61,528		63,500	(1,200)
12-Apr	1,068.79	82.35	61,168	(1,223)		
12-May	1,064.36	82.38	60,940	(1,242)		
12-Jun	1,059.50	82.42	60,688	(1,246)		
12-2Q			60,932		62,900	(1,200)

予想値は太字での表記、MOF(国産)価格の評価値は予想値ではなく本日午前 10 時時点での理論上の計算値

(前日比)は前営業日の予想値および評価値との比較、換算比重は 0.695、為替レートは実勢為替相場に基づいた通関レートおよび為替先物マーケットから算出

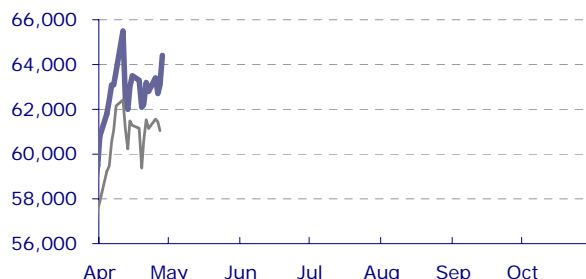
[ナフサ MOF/国産ナフサ価格予想値および評価値コメント、マーケットコメント]

本日午前 10 時時点の 11 年 2Q 国産ナフサ評価値は 6 万 1900 円。本日のナフサ C&F JAPAN 評価値は上昇することが想定され、為替通関レートが円安に振れたこともあり、MOF 評価値は大幅な上昇が見込まれる。11 年 3Q 国産ナフサは前営業日比 1300 円高の 6 万 4400 円の評価。なお、3 月と 4 月のドル/円に訂正がありましたので修正しております。

11年2Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



11年3Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



太線は弊社予想値および評価値の推移、細線はナフサ C&F JAPAN に為替および比重(0.695)を乗じた数値の推移

Daily Market Report

原油・石油製品相場(前営業日)

Crude Oil(ドル/bbl)

		close	chg
NYMEX / WTI	JUN	112.76	(0.55)
	JUL	113.28	(0.57)
ICE / BRENT	JUN	125.13	(0.99)
	JUL	124.86	(1.08)

Oil Products(セント/gal)(ドル/MT)

		close	chg
NYMEX / RBOB	MAY	341.94	(6.22)
NYMEX / Heating Oil	MAY	323.34	(2.23)
ICE / Gas OIL	MAY	1,024.25	(6.50)

【マーケットコメント】

27日の原油相場は、ロンドン市場、NY市場ともに上昇。石油製品在庫の減少やドル安を背景に買いが先行した。WTI期近6月限は一時113.40ドルまで上昇し、直近高値に迫った。引け後の時間外取引でも、買い優勢の地合いを継続している。

米エネルギー情報局(EIA)が発表した週間石油統計で、原油在庫は予想以上の大幅増加となった。輸入量が急回復したことが要因。原油在庫の増加はベアな要因だが、石油製品在庫の減少が市場では材料視された。ガソリン在庫は前年を大きく下回る水準まで取り崩され、予想以上に減少した。これを受け、RBOB相場が上昇したことに原油相場も連れ高した。中間留分在庫も予想に反して減少し、買い材料視された。堅調地合いとなるなか、対ユーロでのドル安が追い風となり、一段と買い気を促す展開となった。米連邦公開市場委員会(FOMC)後の声明、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長の記者会見で、金利を長期間異例に低水準に据え置く方針が示唆され、ドルが対ユーロなどで売り優勢の展開となった。ドル安が進んだことで、ドル建て取引の原油相場に割安感からの買いが入った。

トピックス

「原油在庫、予想以上の大幅増加 = EIA」

エネルギー情報局(EIA)が発表した週間石油統計(4月22日までの1週間)によると、原油在庫は前週比615万6000バレル増の3億6312万5000バレルと、事前予想(80万バレル増)を大幅に上回る増加となった。在庫水準は前年同期比1.5%増と前週の0.3%増からプラス幅を拡大。生産量は日量561万バレル(前週比1万5000バレル減)と小幅に減少したが、輸入量は同926万6000バレル(同121万3000バレル増)と大きく増加した。供給量が増加するなか、製油所への総投入量は同1462万9000バレル(同3万4000バレル増)と小幅に増加し、投入量の増加から製油所稼働率は82.68%と0.19pt上昇した。輸入水準は過去5年レンジを下回っているが、投入量もレンジ下限を下回っている。前週対比では、供給増加が上回り、在庫は予想以上に増加した。なお、クッシング在庫は前週比73万8000バレル減の4038万8000バレルと、2週連続で減少している。SPRは、前週比変わらずの7億2654万2000バレル。

ガソリン在庫は2億0558万8000バレル(前週比250万8000バレル減)と、事前予想(110万バレル減)を上回る減少となった。これで10週連続の減少。在庫水準は前年同期比8.1%減と前週の7.5%減からマイナス幅を拡大している。生産量は日量878万4000バレルと前週から同37万2000バレル減少した。輸入量は同105万バレルと前週から同19万7000バレルの増加。供給量が減少するなか、需要は同914万8000バレル(同8万6000バレル増)と小幅に増加した。前週比では供給減需要増の構図から、在庫減少幅は前週よりも上回った格好。なお、4週平均ベースの需要は同906万1000バレルと前年同期(同921万1000バレル)を1.6%下回っている。25日の全米レギュラーガソリン小売価格は前週比3.5セント高の387.9セントと5週連続の値上がり。2008年8月上旬以来の高水準。

中間留分在庫は前週比180万5000バレル減の1億4653万バレルと、3週連続で減少した。事前予想(10万バレル増)に反して減少している。在庫水準は前年同期比3.5%減と前週の0.4%減からマイナス幅を拡大。なお、中間留分在庫のうちディーゼル油在庫(ULSDおよび50-500ppmの従来型ディーゼル油)は前週比111万1000バレル減と3週連続の減少。一方のヒーティングオイル在庫(500ppm以上)は同69万4000バレル減とこちらは9週連続の減少。中間留分の生産量は日量405万8000バレル(同10万3000バレル減)と減少し、輸入量も同12万1000バレル(同17万2000バレル減)と減少した。一方需要も同373万7000バレル(同37万5000バレル減)と大幅に減少した。25日の全米ディーゼル油小売価格は409.8セント(前週比0.7セント安)と5週ぶりの値下がり。

原油および石油製品在庫の合計(SPRを除く)は、10億3360万バレルと前週比290万バレル増、前年同期比3.7%減。石油製品需要(過去4週平均)は日量1932万6000バレルと、前年同期の同1870万8000バレルを3.3%上回っている。

「PEG、EOA系界面活性剤値上げへ = 三洋化成工業」

三洋化成工業は25日、洗浄剤など諸工業薬剤の原料であるPEGならびにEOA系界面活性剤の価格を値上げすることを決め、ユーザーとの交渉を開始することを明らかにした。値上げ幅はプラス25円/kg以上で、改定時期は5月6日出荷分から。PEGならびにEOA系界面活性剤の主原料であるエチレンオキシド(EO)価格は、ナフサ高騰を理由に4月から値上がりが避けられない状況にあり、さらに天然系アルコールや脂肪酸価格も高騰しており、加えて燃料などの諸経費も上昇していることから、現在の製品価格では安定供給の継続が困難と判断し値上げを決定した。

「IPA、PO値上げへ = トクヤマ」

トクヤマは、工業用および電子工業用イソプロピルアルコール(IPA)、プロピレンオキシド(PO)価格について値上げすることを明らかにした。価格改定幅は、工業用IPAがプラス22円/kg以上、電子工業用IPAがプラス26円/リットル以上、POがプラス24円/kg以上で、改定時期は5月1日出荷分より。第2四半期の国産ナフサ価格が上昇する見通しであり、原料プロピレン価格の高騰が事業収益を圧迫しているため、価格改定せざるを得ないと判断した。

Daily Market Report

「サウジアラビアにおける AN 事業化検討のため合併会社を設立 = 旭化成ケミカルズ」

旭化成ケミカルズは、サウジアラビア基礎産業公社 (SABIC) および三菱商事と、サウジアラビアにおけるアクリロニトリル (AN) の共同事業化の詳細検討を行うため合併会社を設立する。設立資本金は約 10 億円で、出資比率は SABIC が 50%、旭化成ケミカルズおよび三菱商事が 50%。新社名は Saudi Japanese Acrylonitrile Company (仮称) で通称シュルーク。計画している生産能力は、プロピレン法 AN が 20 万トン/年で、AN 製造工程から副生する青酸を原料に、4 万トン/年の青化ソーダ製造プラントを併設する予定。AN の世界需要は今後も堅調な成長が見込まれ、今後成長が期待される中東・北アフリカ市場および供給不足が懸念されるアジア市場に向けたプラントの新設を検討してきた。今後、製造設備の基本設計に着手するとともに、詳細な事業計画の作成を進め、設備投資の最終的な意思決定は 2012 年を目指す。

「分離精製剤の生産能力を倍増 = 東ソー」

東ソーは 27 日、山口県周南市の南陽事業所において、分離精製剤の新系列製造設備の建設を決定したことを明らかにした。2011 年 4 月に着工、2012 年 4 月の完工を予定しており、これにより生産能力は倍増する。同製品は粒径が 20-150 μm 程度の親水性架橋ポリマーの球状体で、高強度で化学的な安定性に優れており、吸着容量も高いことから、製薬会社や食品会社などが行う工業規模での目的成分の分離精製に適しており、バイオ医薬品や食品などの製造プロセスに幅広く利用されている。バイオ医薬品産業は、日本、米国、欧州諸国に加え、中国、インドなどの新興国で急速に拡大しており、需要の急速な拡大と市場の地理的な拡大に対応するため、大幅な生産能力の増強を行うことにした。

「アルミナ繊維の増設 = 三菱樹脂」

三菱樹脂は 27 日、世界での排ガス規制の強化に伴い需要が伸長しているアルミナ繊維の新ライン (2 系列) 増設を決定したことを明らかにした。新ラインは香川県の坂出工場に設置する。今年 3 月、新潟県の直江津工場において新ライン (約 300 トン/年) を立ち上げ、生産能力を約 4800 トン/年まで増強したが、自動車の排ガス処理装置の旺盛な需要が伸長しており、これに対応すべく坂出工場に新たなライン 2 系列 (計 800 トン/年) の増設を決めた。竣工は 2012 年 1 月末および 5 月末の予定。

「2011 年原油価格見通しは 98.90 ドル = ロイター」

ロイター社がアナリストを対象に纏めた原油価格見通し (4 月 21 日時点) によると、2011 年 2Q の WTI は 104.60 ドルと前回見通し (3 月 24 日時点で纏めた平均) の 99.80 ドルから引き上げられた。2011 年通年は 98.90 ドル (前回見通し 98.50 ドル)、2012 年は 98.50 ドル (同 96.70 ドル) とそれぞれ上方修正された。一方ブレントは、2Q が 114.00 ドルと前回見通しの 107.90 ドルから上方修正された。2011 年は 108.20 ドル (同 105.60 ドル) へと引き上げられたが、2012 年は 104.10 ドル (同 104.60 ドル) へと下方修正された。

「"NAP MOF PRICE AVE + 2000" INDEX = ナフサ輸入価格単純平均 + ¥2000/KL」

期間 (3ヶ月)		輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率	期間 (6ヶ月)		輸入価格単純平均 + ¥2000/KL	Amerex 占有率
11 Jan - 11 Mar		52,500	0%	10 Oct - 11 Mar		48,800	0%
11 Feb - 11 Apr		55,000	33%	10 Nov - 11 Apr		51,500	17%
11 Mar - 11 May		58,400	67%	10 Dec - 11 May		54,500	33%
11 Apr - 11 Jun		61,900	100%	11 Jan - 11 Jun		57,200	50%
11 May - 11 Jul		63,900	100%	11 Feb - 11 Jul		59,400	67%
11 Jun - 11 Aug		64,500	100%	11 Mar - 11 Aug		61,400	83%
11 Jul - 11 Sep		64,400	100%	11 Apr - 11 Sep		63,100	100%
11 Aug - 11 Oct		64,200	100%	11 May - 11 Oct		64,000	100%
11 Sep - 11 Nov		64,100	100%	11 Jun - 11 Nov		64,300	100%
11 Oct - 11 Dec		63,900	100%	11 Jul - 11 Dec		64,200	100%
11 Nov - 12 Jan		63,800	100%	11 Aug - 12 Jan		64,000	100%
11 Dec - 12 Feb		63,700	100%	11 Sep - 12 Feb		63,900	100%
12 Jan - 12 Mar		63,500	100%	11 Oct - 12 Mar		63,700	100%
12 Feb - 12 Apr		63,400	100%	11 Nov - 12 Apr		63,600	100%
12 Mar - 12 May		63,200	100%	11 Dec - 12 May		63,400	100%
12 Apr - 12 Jun		62,900	100%	12 Jan - 12 Jun		63,200	100%

算出には本日 10 時時点のナフサ MOF 評価値及び予想値を使用。Amerex 占有率は上記算出における Amerex のナフサ MOF 評価値及び予想値の使用率を示す